マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ・シニア
『日本ジオパーク全国大会2019おおいた大会』

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ・シニアの活動について報告します。

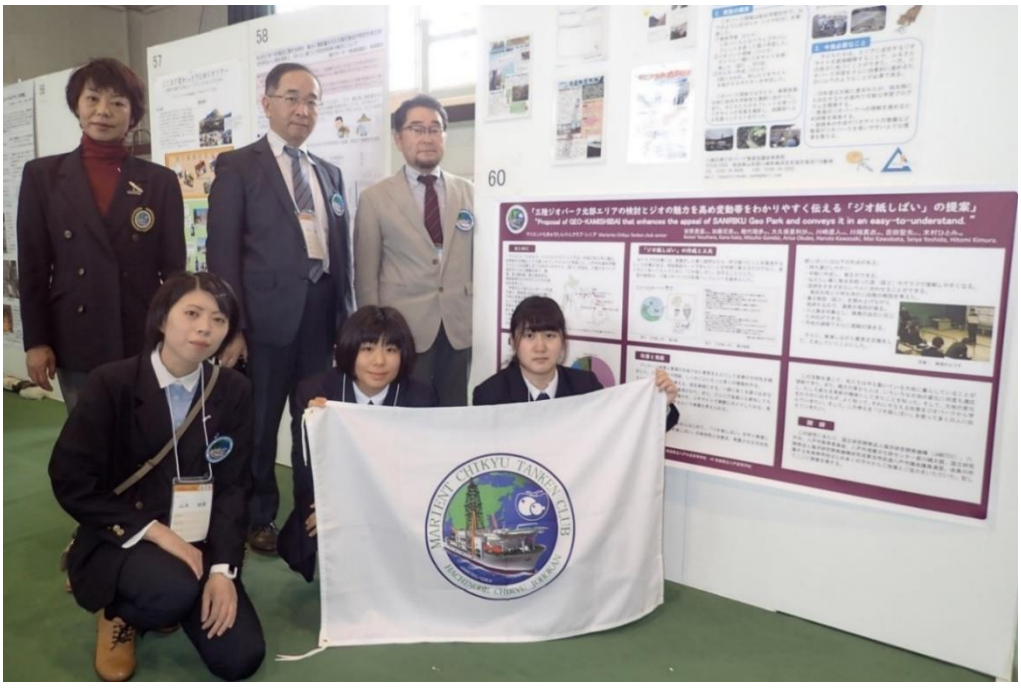
〇シニア会員が研究者や教員、さらには同年代の生徒と議論・交流を図り、本大会への参加・発表を通じて、生徒たちが科学的理論に基づき深い思考を養う過程を経験し、未来を切り拓く人材を目指す。

〇多岐にわたる分野の専門家の方々とセッションすることにより、知見への追求や未来予想へ向かっての貴重な「学びの場」を体験し、新たな知見と、広い視野と価値観を獲得するステップとする。

・上記の趣旨をもとに、令和元年度シニア企画といたしまして、11月3日（日）、主催の日本ジオパーク全国大会2019 おおいた大会 小 中 高生による発表（口頭発表、ポスター発表）に参加いたしました。

■参加メンバー：

青森県立八戸水産高等学校　2年　川端　真衣
青森県立八戸高等学校　2年　木村　ひとみ　（シニア会員2名）
マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ・シニア　高橋　晃　会長
マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ・シニア　井上　貫之　副会長
マリエント館長及びスタッフ 1名　（計6名）



ポスター発表会場：三重町体育館にて

今年５月に、千葉県幕張メッセ国際会議場・展示場にて開催された JpGU（日本地球惑星科学連合）2019 年大会において、三陸ジオパークについての発表に挑戦しました。そこで実演したジオ紙しばいを、大会中に色々な助言と提案をいただき見直しました。今回、ジオ紙しばいの提案2 をテーマに、マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ・シニアとして「第10 回　日本ジオパーク全国大会　2019 おおいた大会」に参加をし、口頭発表、ポスター発表の両方に、会員である高校生が参加し「三陸ジオパーク」について調べたこと、学習したことを発表しました。

大会2019 おおいた大会に、当館の「ちきゅう」たんけんクラブ・シニア会員2名が参加し、口頭発表、ポスター発表に挑戦してまいりました。

以下、大会の概要と大会までの取り組みについてご報告致します。

日本ジオパーク全国大会とは

当大会は、全国のジオパーク関係者が集結し、ジオパークの活動について共有・議論しあう大会です。ジオパークを多くの方々から知っていただくことが必要であり、興味を持っていただくとともに、各ジオパークの情報交換や意見交換などを行い、関係者が一丸となって、ジオパークの一層の発展・向上につなげることを目的として開催されています。おおいた大会では、基調講演、パネルディスカッション、分科会などが行われ、県内外から約２，０００人の参加がありました。

【主な活動日程】2019年　9月16日　打合せ、紙芝居見直し（マリエント４階会議室にて）
9月30日　発表申込み
10月 5日　打合せ
10月 6日　紙芝居作成
10月13日　紙芝居作成
10月14日　紙芝居作成
10月20日　紙芝居作成
10月22日　紙芝居作成、発表練習
10月26日　発表練習
10月27日　最終練習

発表までの活動の様子です。土・日曜日を中心に、マリエントに集まり、紙芝居の見直しと作成を行いました。

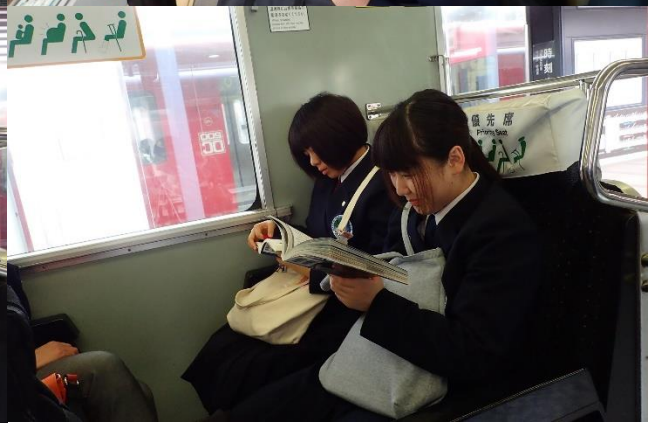
【11月2日　八戸出発】7時30分に八戸駅に集合。8時11分発はやぶさ１０号にて出発。

大分に到着後、夕食を済ませ、翌日の発表に備え、発表の練習と最終確認をしました。

先ずは本番での発表時間は 15 分以内に収めなくてはいけない為、繰り返し、練習を行いました。その後、ポスター発表時の質問対策を行いました。

【11月3日　発表本番】

いよいよ発表当日です。大分から会場のある三重町へ向け出発の様子です。



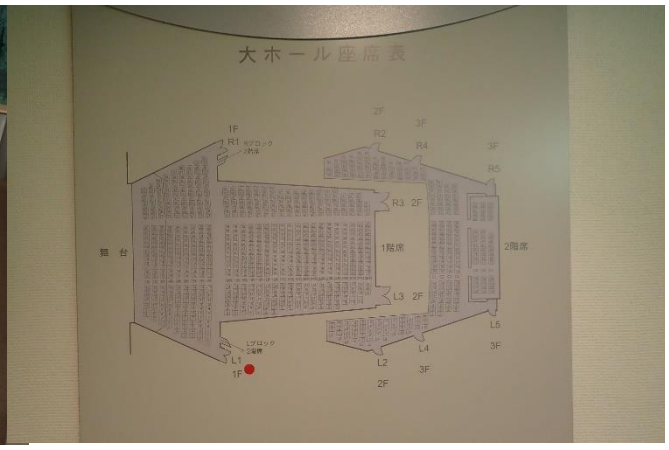
三重町に到着すると、駅を出てから会場まで出店がでていたり、太鼓でお出迎え等大変賑わっていました。

会場となるエイトピアおおの、三重町体育館に到着。

口頭発表会場：エイトピアおおの　　ポスター発表会場：三重町体育館

今回、小中高生の発表に参加をすることもあり、会場には地元の小学生たちも多く集まっていました。先ずはエイトピアおおのにて受付を済ませ、会場の確認をしました。

会場に入ると、エントランスには大きな日本のジオマップがありました。今回、シニア会員が発表する会場は一番広い大ホールになります。２階席まであり、５００人以上動員できるスケールの会場です。



会場確認後、打合せを済ませ、昼食を済ませ、会場近くの出展ブースを見学しました。

各ジオパークの展示や体験コーナー、物産展など一般の方も楽しめる多くのイベントが用意されていました。

シニア会員の２人は各ブースを回りながら、積極的に話しかけ、自分たちの発表を見に来てもらえるようにピーアールをしながら交流を楽しんでいました。